

検証対象: 14官民ファンド

(株)産業革新投資機構
(独)中小企業基盤整備機構
(株)地域経済活性化支援機構
(株)農林漁業成長産業化支援機構
(株)民間資金等活用事業推進機構

官民イノベーションプログラム

(株)海外需要開拓支援機構
耐震・環境不動産形成促進事業
(株)日本政策投資銀行における特定投資業務
(株)海外交通・都市開発事業支援機構

R6年度は3年度毎のマイルストーン検証
年度であり、R5.3時点のデータを検証

国立研究開発法人科学技術振興機構

(株)海外通信・放送・郵便事業支援機構
地域脱炭素投資促進ファンド事業
(株)脱炭素化支援機構

官民ファンドの活用推進に関する関係閣僚会議

(2013.9.27設置)

官民ファンドの活用推進を図る観点から、官民ファンドの運営状況の検証を政府一体となり関係行政機関が連携して行う

【構成員】 総務大臣、財務大臣、**文部科学大臣**、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、
内閣府特命担当大臣(経済財政政策)、内閣府特命担当大臣(規制改革)、内閣官房長官《主宰》

- ・「官民ファンドの運営に係るガイドライン」を決定
- ・「官民ファンドの活用推進に関する関係閣僚会議幹事会」(定期的な検証の場)を設置

「官民ファンドの運営に係るガイドラインによる検証報告」 毎年11月頃

官民ファンドの活用推進に関する関係閣僚会議幹事会

(2013.9.27設置)

【構成員】 議長: 内閣官房副長官

R5.12時点

(有識者) 池田 弘 公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会会長
翁 百合 株式会社日本総合研究所理事長
川村 雄介 一般社団法人グローカル政策研究所代表理事

※他に所管府省局長等

出典：官民ファンドの運営に係るガイドラインによる検証報告（第15回）（抜粋、一部加工）

● KPI 1-1（政策目的）の設定内容

指標①：各案件の投資決定に際し、官民ファンドとして積極的にリードをとっているか
指標②：各投資案件についての協調投資件数
官民イノベーションプログラムは国立大学等における研究成果の実用化を促進し新たな価値の創造に繋げるもの。特に民間VCがリスク高のために避けがちとなる足の長いシード段階やアーリー段階の案件を中心に投資を展開。以上を踏まえ、主に投資の初期段階におけるリードの役割を測るものとして指標①を設定（間接投資の場合、間接投資先VCによる投資分を測定）。また、民間投資を順次呼び込む役割を測るものとして指標②を設定。SDGsの目標9（5）イノベーションの促進に該当。

● KPIの設定状況

				R6/3 (MS)	R9/3 (MS)	R12/3 (MS)	R15/3 (MS)	R17/3 (KPI)	KPI設定にあたっての考え方
KPI 1-1	政策目的	（上記参照）	（件）	189	213	213	213	213	投資案件のうち投資相手方数ベースで概ね50%以上の案件についてリードをとることを基本として各投資組合の特性・状況を踏まえ設定
			（件）	841	1,090	1,215	1,225	1,225	協調投資実績（投資回数ベース）を踏まえ、同様に民間投資を呼び込むことを基本としつつ、各投資組合の特性・状況を踏まえ設定
KPI 1-2	エコシステム	民間企業との連携	（社）	631	798	876	882	882	協調投資者による経営支援実績（実施者数ベース）を踏まえ、同様に支援を呼び込むことを基本として各投資組合の特性・状況を踏まえ設定
KPI 1-3	呼び水 ^(注)	倍率（出融資の合計）	（倍）	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	投資組合からの投資額の概ね2倍程度の民間資金を誘発することを基本として各投資組合の特性・状況を踏まえ設定
		出資のみ	（倍）	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
		誘発額（出融資の合計）	（億円）	1,299	1,759	1,942	1,947	1,947	
		出資のみ	（億円）	1,291	1,751	1,935	1,940	1,940	
KPI 2	累積損益		（億円）	▲48	▲65	50	117	166	投資組合が保有する株式等の処分等を行うことにより得られる総収入額が投資組合への各出資者の総出資額を上回るとの目標を踏まえ設定

（注）「呼び水」は「ファンドの実出融資額」に対する「誘発された民間企業等からの出融資額」の比率

官民ファンドの運営に係るガイドラインによる検証報告（第15回）※

（官民イノベーションプログラム関係部分の概要）

※令和5年10月16日に開催された官民ファンド関係閣僚会議幹事会において取りまとめ。

官民イノベーションプログラム【政府出資金1000億円：4大学】

①令和4年度の投資実績

投資件数	支援決定額
31件	83億円

②平成27年度～令和4年度の投資実績（累積）

投資相手方数	支援決定額	誘発された民間 投融資額	EXIT件数	回収率
217社	542.9億円	2466.5億円	33件	1.8倍

③令和2年度末のマイルストーン（目標値）と実績

※マイルストーンは3年度毎に検証するため、③は前回検証年度である令和2年度末のデータを記載

KPI	目標値	実績値	達成状況
リード投資件数	133件	129件	やや未達
協調投資件数	542件	551件	達成
民間との連携社数	420件	460件	達成
民間投融資の倍率	2.3倍	3.1倍	達成
累積損益	-41億円	-49億円	未達

※新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、新規投資を意図的に抑えたため、リード投資件数はやや未達。また、累積損益も同様の理由でEXIT（株式上等）予定を先送りしたため、未達。

官民イノベーションプログラムに係るKPI

種別	担当	区分		判断指標
幹事会 KPI	VC	1. 事業計画の進捗	(KPI 1-1-① 政策目的) 各案件の投資決定に際し、官民ファンドとして積極的にリードをとっているか	投資件数(追加投資含まず)全体のうちリード投資件数(件) ※投資相手方数ベース ※間接投資の場合、間接投資先VCによる投資分を測定
			(KPI 1-1-② 政策目的) 各投資案件についての協調投資件数	投資件数(追加投資含む)全体のうち協調投資があった件数(件) ※投資件数ベース
			(KPI 1-2 エコシステム 民間企業との連携)	ファンドとともに投資先に対して経営支援を実施した協調投資者(民間VC、事業会社等)の数(社) ※実施者数ベース
			(KPI 1-3 呼び水)ファンドの実出融資額に対する誘発された民間企業等からの出融資額の比率	(a)倍率(出融資の合計)(倍)
				(b)誘発額(出融資の合計)(億円)
部会 KPI	大学	2. 国立大学における技術に関する研究成果の事業化	(1) 大学において研究成果の事業化に向けた取組(ブレ・インキュベーション)の支援を実施しているか	大学におけるブレインキュベーションの支援件数(大学毎の状況进行评估)
			(2) 大学における技術に関する研究成果が事業化に結び付き、社会に対して新たな付加価値が創出されているか ※ 指標の定義は「産学連携等実施状況調査」と同様	(a)大学発ベンチャーの創出数(大学毎の状況进行评估)(社) (b)発明届出件数(ノウハウも含む)(大学毎の状況进行评估)
		3. 国立大学における教育研究活動の活性化	事業の実施により、大学の教育研究活動が活性化しているか	(a)アントレプレナー教育参加者数(社会人及び教員も含む)(大学毎の状況进行评估) (b)アントレプレナー教育への4大学VCの関与件数(大学+ファンド毎の状況进行评估)
	大学 VC	4. 地域における経済活性化への貢献、大学発ベンチャーの海外展開への貢献	(1) 地域との連携・協働による経済活性化への貢献が図られているか、地域への知の還元、社会貢献等がなされているか	地域におけるマッチング件数(大学+ファンド毎の状況进行评估)
			(2) 大学発ベンチャーの海外展開を展望したサポート体制が構築されているか	海外プロモーション・マッチングの件数(大学+ファンド毎の状況进行评估)